

知らなきゃ損するかも？！

ファンドアナリストが明かす投信運用の裏側

～あるファンドマネージャーの日常～

Rakuten 楽天証券

楽天証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

 三井住友DSアセットマネジメント 

三井住友DSアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

Q1

**「日経平均株価、S&P500株価指数」等、
株価指数への連動を目指すインデックス
ファンドは機械的に運用されていますか？**



A1

×

実は、「ファンドマネージャー」が
運用しています

投資信託とは？

- 投資信託とは、投資家から集めた資金を、大きくひとつにまとめて、運用の専門家が国内外の株式や債券などに投資・運用する商品です。
- 大きくまとめて投資をするので、さまざまな株式や債券などに分散して投資することができます。



※上記はイメージです。

Q2

ファンドの運用手法にはどのようなものがありますか？

A2

ファンドの運用手法は、大別すると
パッシブ運用とアクティブ運用に分類
されます

パッシブ（インデックス）運用とアクティブ運用について

運用手法	パッシブ（インデックス）	アクティブ（バリュー・グロース）
特徴	ファンドの運用成果をインデックス（株価指数など）と連動させる アクティブ運用よりも投資にかかるコスト（信託報酬など）を抑えられる一方、組入銘柄選択の自由度は限定的 など	企業調査などにより、魅力的な投資先を選定して投資を行う ファンドの運用成果がベンチマーク（株価指数）などを上回ることを目指す など

- ・ バリュー投資・・・「本来の企業価値」よりも株価が低い状態（割安）にある銘柄に投資すること
- ・ グロース投資・・・売上や利益の成長率が高く、今後も高い成長が見込まれる銘柄に投資すること

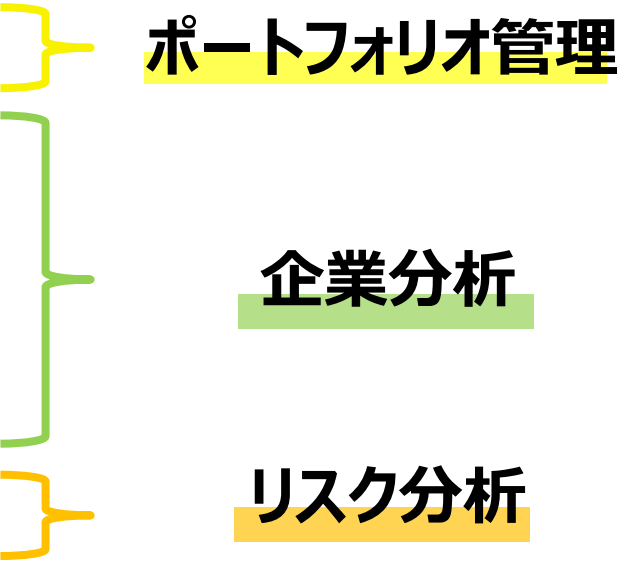
■ パッシブ（インデックス）運用のファンドマネージャーが行っていること

- ファンドの入出金における資金管理
(ファンドの入出金に応じて現物株や株価指数先物を使用したポジション調整)
- 対象とする株価指数とのパフォーマンスの乖離を確認、ポジションを調整

運用手法	パッシブ（インデックス）	アクティブ（バリュー・グロース）
特徴	ファンドの運用成果をインデックス（株価指数など）と連動させる アクティブ運用よりも投資にかかるコスト（信託報酬など）を抑えられる一方、組入銘柄選択の自由度は限定的 など	企業調査などにより、魅力的な投資先を選定して投資を行う ファンドの運用成果がベンチマーク（株価指数）などを上回ることを目指す など

アクティブ運用のファンドマネージャーが行っていること

- ・ ポートフォリオ管理
- ・ 決算書/財務諸表の分析
- ・ 企業取材
- ・ 投資先との対話
- ・ 製品やサービスの視察
- ・ ポートフォリオ特性（バリュー・グロース）の維持



運用手法	パッシブ（インデックス）	アクティブ（バリュー・グロース）
特徴	ファンドの運用成果をインデックス（株価指数など）と連動させる アクティブ運用よりも投資にかかるコスト（信託報酬など）を抑えられる一方、組入銘柄選択の自由度は限定的	企業調査などにより、魅力的な投資先を選定して投資を行う ファンドの運用成果がベンチマーク（株価指数）などを上回ることを目指す など

ポートフォリオ管理

企業分析

- 決算書/財務諸表の分析
- 企業取材
- 投資先との対話
- 製品やサービスの視察

リスク分析

- ポートフォリオ特性
(バリュー・グロース) の維持

※上記はイメージです。



ファンドマネージャーの強み

- ・ アナリストによる分析情報の活用
- ・ 企業取材
- ・ 投資先との対話
- ・ 製品やサービスの視察

など

バリュー株ファンドへの想い

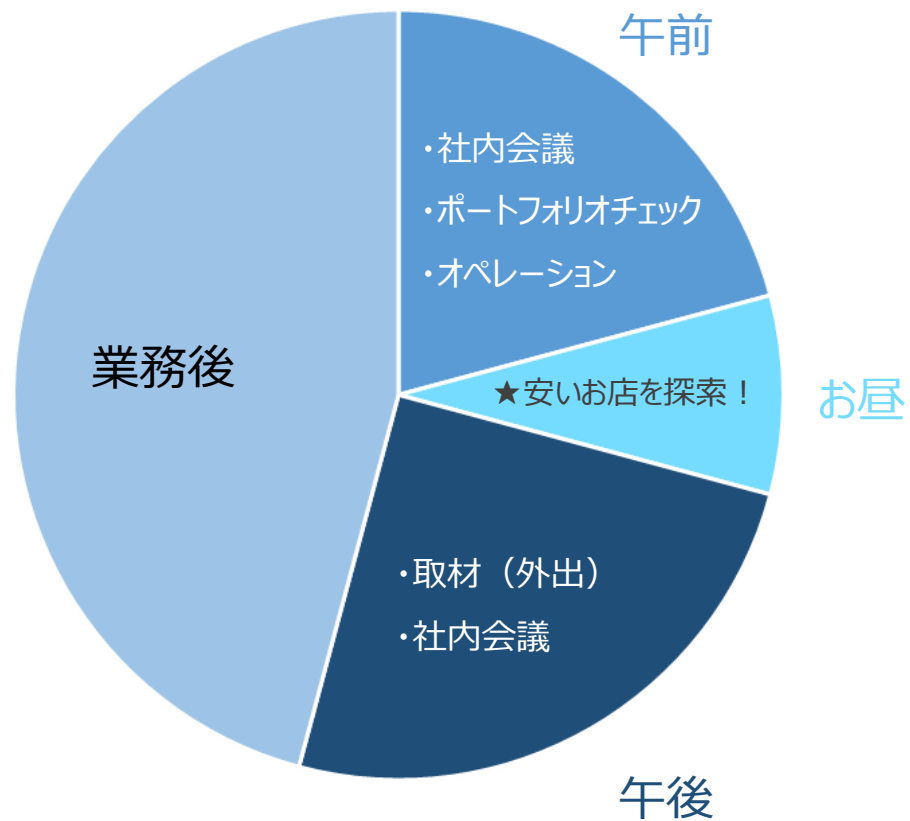
- ・「日本株マーケットの発展に貢献したい」と思って運用しています。
- ・「投資先企業の成長に貢献したい」と考えており、長期目線でのエンゲージメント（投資先企業と建設的な目的をもった対話）にも力を入れています。

バリュー株ファンド運用への着眼点

- ・「本当に割安か？」という点。
- ・ 企業そのものに、また企業が展開するサービスや販売している商品に、「本当の価値」があるのか、という点。
- ・ 企業がさらに成長するにはどうしたらいいか？という点。

篠田さんから部奈FMへ質問！

＜部奈FMのある1日のタイムスケジュール＞



<トランポリンでリフレッシュ>



Q3

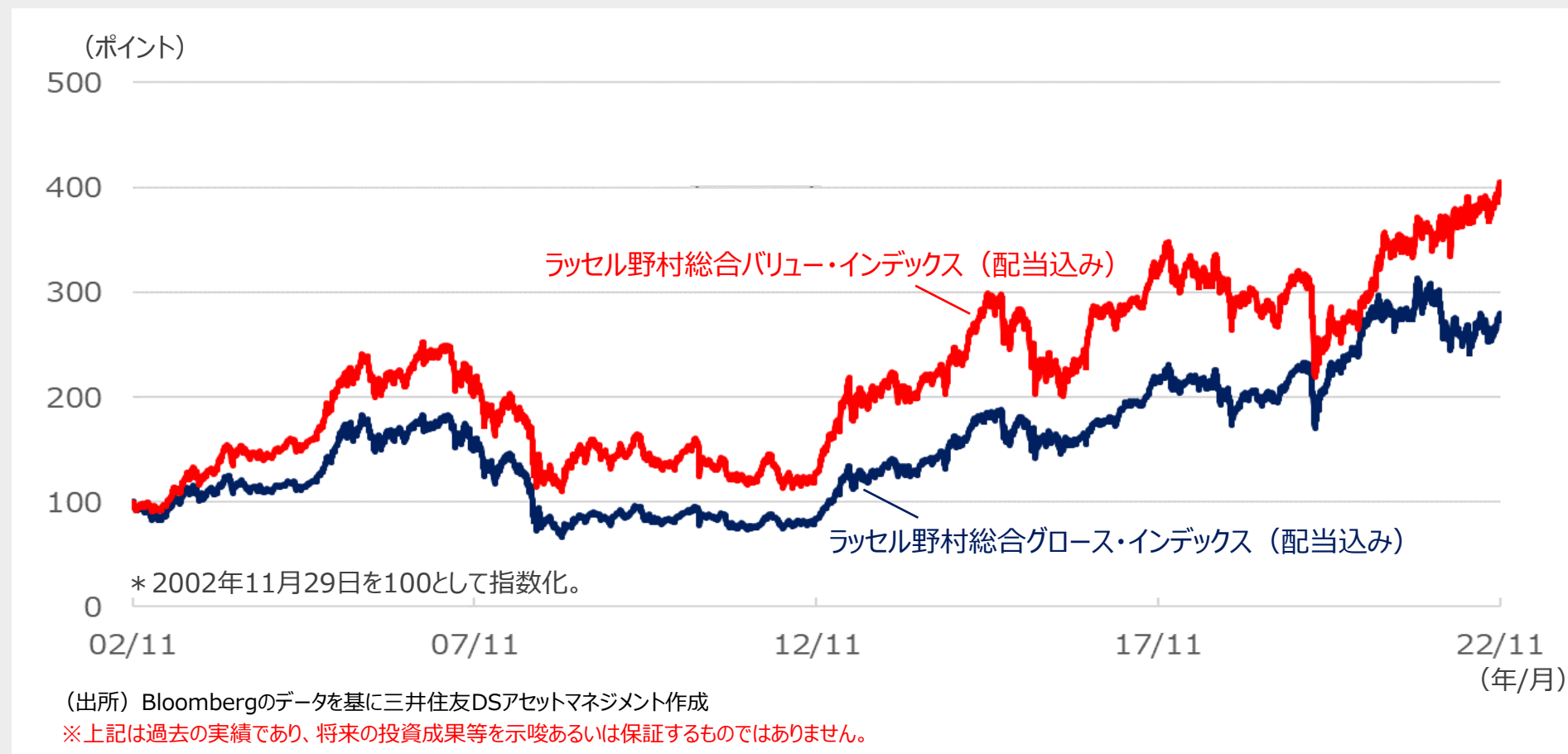
これまでの投資環境で一番厳しかったことは？



A3

＜バリューとグロース株価指数の推移＞

2002年11月29日～2022年11月30日、日次



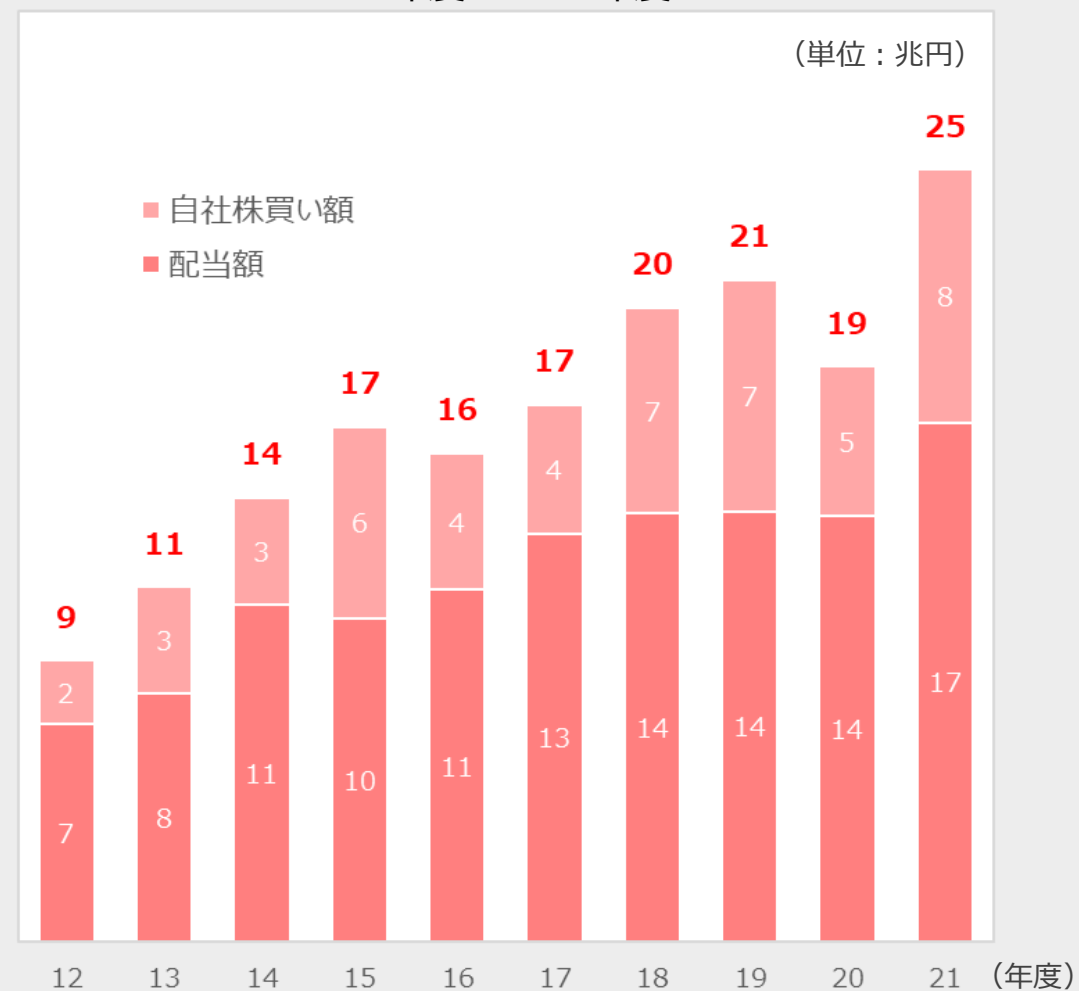
Q4

足元の投資環境をどのようにみていますか？

A4

＜国内企業の株主還元額の推移＞

2012年度～2021年度



(注) 四捨五入の関係上、株主還元額＝自社株買い額＋配当額とならない場合があります。

(出所) QUICKのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去の実績であり、将来の投資成果等を示唆あるいは保証するものではありません。



＜同僚と談笑＞



＜これから企業視察へ＞



【投資信託商品についてのご注意（リスク、費用）】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託の基準価額は、投資信託に組み入れられる有価証券の値動き等（外貨建資産には為替変動もあります。）の影響により上下します。基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。運用の結果として投資信託に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、投資信託は預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものでもありません。

●投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

◆直接ご負担いただく費用・・・購入時手数料 上限3.85%（税込）

・・・換金（解約）手数料 上限1.10%（税込）

・・・信託財産留保額 上限0.50%

◆投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・信託報酬 上限 年2.255%（税込）

◆その他費用・・・監査費用、有価証券の売買時の手数料、デリバティブ取引等に要する費用（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）、および外国における資産の保管等に要する費用等が信託財産から支払われます。また、投資信託によっては成功報酬が定められており当該成功報酬が信託財産から支払われます。投資信託証券を組み入れる場合には、お客さまが間接的に支払う費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用等に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用の状況により変化するため、あらかじめその上限額、計算方法等を具体的には記載できません。

※なお、お客さまにご負担いただく上記費用等の合計額、その上限額および計算方法等は、お客さまの保有期間に応じて異なる等の理由によりあらかじめ具体的に記載することはできません。

【ご注意】

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友DSアセットマネジメントが運用するすべての投資信託における、それぞれの費用の最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面等を必ず事前にご覧ください。

投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。

〔2022年9月30日現在〕

●当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。

●当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。

●資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

●当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。

●当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

●当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

作成基準日：2022年11月末

はじめての方へ

商品

サービス

手数料

ツール・アプリ

マーケット情報

学び・セミナー

キャンペーン

国内株式

信用取引

米国株式

米株信用

IPO

投資信託・積立

ロボアド

つみたてNISA

iDeCo

債券

FX

らくオプ

CFD

先物OP

金・プラチナ

ポイント投資

IFA(運用相談)

ホーム > 投資信託 > 三井住友D S日本バリュー株ファンド

★★★★★
TOP
10%

三井住友D S日本バリュー株ファンド

【愛称】黒潮

積立 100円投資 NISA

楽天キャッシュ 0.5%ポイント還元 クレカ決済 1%ポイント還元

文字サイズ 小 中 大

総合口座ログイン

2023年01月06日更新(データ更新タイミング一覧)

楽天証券分類 国内株式

楽天証券分類について

基準価額	15,312 円 (1/6)	前日比 +30 円 前日比 +0.2 % 率
純資産額	127.12 億円	前年比 +13.84 %
直近分配金	200 円	次回決算 7/8

ファンドスコア
(1年 / 3年)
★★★★★

買付手数料

なし

管理費用
(含む信託報酬)

1.672%

ファンドスコアにつ
いて IFA手数料

スポット購入

積立注文

お気に入り

詳細・目論見書

お知らせ

印刷



チャートの使い方

全銘柄ランキング

買付ランキン
グ 655位積立設定件数
ランキング 771位値上がり率
ランキング 1,359位

分類別ランキング

値上がり率
ランキング 240位
(331件
中)

その他のランキングを見る

投資信託

投資信託を学ぶ

資産形成を考える

選ばれる理由

投資信託を探す

検索条件を指定して探す

投信スーパーサーチ

セクションから探す

ファンドセクション

人気の商品を探す

ランキング一覧

投資信託一覧

外貨建てMMF

専用投信一覧

楽天投信ファンド一覧

直販投信

始めたあとも安心

取引ガイド

NISA

投資信託のリスクと費用について

投資信託は、商品によりその投資対象や投資方針、申込手数料等の費用が異なり、多岐にわたりますので、当該商品の目論見書、契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解いただくよう、お願いいたします。

投資信託の取引にかかるリスク

- 主な投資対象が国内株式
組み入れた株式の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。
- 主な投資対象が円建て公社債
金利の変動等による組み入れ債券の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。
- 主な投資対象が株式・一般債にわたっており、かつ、円建て・外貨建ての両方にわたっているもの
組み入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等の影響により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

投資信託の取引にかかる費用

各商品は、銘柄ごとに設定された購入又は換金手数料（最大税込4.40%）および運営管理費用（信託報酬等）の諸経費をご負担いただく場合があります。また、一部の投資信託には、原則として換金できない期間（クローズド期間）が設けられている場合があります。

- お買付時にお客様に直接ご負担いただく主な費用
「買付手数料」：ファンドによって異なります。
- 保有期間中に間接的にご負担いただく主な費用
「ファンドの管理費用（含む信託報酬）」：ファンドによって異なります。
- ご換金時にお客様に直接ご負担いただく主な費用
「信託財産留保額」「換金手数料」：ファンドによって異なります。

買付・換金手数料、信託報酬、信託財産留保額以外にお客様にご負担いただく「その他の費用・手数料等」には、信託財産にかかる監査報酬、信託財産にかかる租税、信託事務の処理に関する諸費用、組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息等がありますが、詳細につきましては「目論見書」で必ずご確認くださいませようお願いいたします。

また、「その他の費用・手数料等」については、資産規模や運用状況によって変動したり、保有期間によって異なったりしますので、事前に料率や上限額を表示することはできません。

投資信託に関する情報提供について

- 楽天証券株式会社がウェブページ上で掲載している投資信託関連ページは、お取引の参考となる情報の提供を目的として作成したものであり、投資勧誘や特定銘柄への投資を推奨するものではありません。
- 各投資信託関連ページに掲載している投資信託は、お客様の投資目的、リスク許容度に必ずしも合致するものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 各投資信託関連ページで提供している個別投資信託の運用実績その他の情報は、当該投資信託の今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、また、将来の運用成果をお約束するものでもありません。

（楽天証券分類およびファンドスコアについて）

- 楽天証券ファンドスコアは、「運用実績」を一定の算出基準に基づき定量的に計算したもので今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、将来の運用成果をお約束するものでもありません。最終的な投資判断は、運用コスト、残高の規模、資金流出入額、運用プロセス、運用体制等を考慮し、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。

● 情報提供：株式会社QUICK

各投資信託関連ページに掲載している情報（以下「本情報」という）に関する知的財産権は、楽天証券株式会社、株式会社QUICKまたは同社の情報提供元（以下三社を合わせて「情報提供元」という）に帰属します。本情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではなく、これらの情報によって生じた損害について、情報提供元は原因の如何を問わず一切の責任を負いません。本情報の内容については、蓄積・編集加工・二次加工を禁じます。また、予告なしに変更を行うことがあります。

免責事項

本資料は、将来の株価変動等を予測し保証するものではありません。また、有価証券の取引その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。記載された情報の正確性について万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何ら責任を負うものではありませんのでご了承ください。

資料に記載している価格、数値、金利等は、諸情勢により変化し実際とは異なる場合がございます。また、お取引を締結する際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承下さいますようお願い申し上げます。

楽天証券の各取扱商品等に投資いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また各取扱商品等は、価格の変動等によって損失が生じるおそれがあります。投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ウェブサイトの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページや「契約締結前交付書面」等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

投資信託は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（ファンドごとのリスクは異なります。必ず、各ファンドの目論見書にてご確認ください）。投資信託をご購入の際は、あらかじめ最新の投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。なお、投資信託は預貯金とは異なります。ご購入時には各ファンドごとに設定された所定の手数料がかかります。

＜金融商品仲介業者の商号等＞

商号等：株式会社Good Moneyger

登録番号：関東財務局長（金仲）第786号

＜所属金融商品取引業者の商号等＞

商号等：楽天証券株式会社/金融商品取引業者関東財務局長（金商）第195号/商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会